

(円)

No	事業名	事業概要	総事業費			事業開始 年月日	事業完了 年月日	効果
			交付金充当 経費	国庫補助額	その他（一般財源や補 助対象外経費等）			
1	キャッシュレス決済 システム導入事業	電子マネーやコンビニエンスストアで税金、各種料金等の支払いができるように、キャッシュレス決済システムを構築する。人と人の接触機会を減らし、新型コロナウイルス感染拡大の防止や住民の安全性、利便性の向上を図	9,215,800	9,210,000		R3.4.1	R4.3.18	システムの構築により、窓口業務の人と人の接触機会を軽減と同時に、DXの推進につながった。
2	オンライン会議 システム構築事業	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、令和2年度は住民懇談会等の開催中止を余儀なくされた。役場庁舎と各地区公民館等の施設をインターネット回線をつなぎ住民懇談会等の会議をオンライン開催するため、通信機器を	993,837	921,000	28,550	R3.4.1	R4.3.18	オンライン会議に必要な端末の整備により、従来の対面型の会議から、WEB会議への移行がスムーズにできた。
3	生活応援商品券	コロナ禍での外出自粛や商工業の売上げ等の減少に対応するため、村内の商工業者で利用可能な1万円分の商品券を全村民に配布する。	18,051,507	18,000,000	7,220	R3.4.1	R4.1.7	商品券の換金率も高く、新型コロナに加え、物価高騰の影響を受ける住民の生活費の一助となり、合わせて低迷する商工業者の支援となった。
4	いくさかマル得 商品券	地元消費の拡大と地域経済の活性化、新型コロナウイルス感染症の影響による村内商工業者と村民の生活支援を目的として、販売額1万円に5,000円分のプレミアム分をつけた商品券を2千冊発行する。	13,159,413	11,073,000	2,042,000	R3.8.5	R3.11.25	住民の家計圧迫の支援、加えて地域消費需要の喚起により、商工業者の経営の下支えができた。
5	福祉センター繰出金	地域福祉の窓口、観光拠点として役割を担う村営福祉施設に、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による施設使用料の減収分を繰出し、稼働を継続する。	2,221,287	2,177,000	0	R3.4.1	R4.2.28	外出自粛制限のなか、売り上げが低迷するなか、福祉の拠点施設の営業を停止することなく、住民サービスや福祉の保持ができた。

6	福祉センター繰出金	地域福祉の窓口、観光拠点として役割を担う村営福祉施設に、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による施設使用料の減収分を繰出し、稼働を継続する。	14,199,287	10,000,000		4,155,000	R3.4.1	R4.3.31	同上
7	敬老御祝商品券	毎年70歳以上の高齢者を対象に開かれている敬老の催しが、新型コロナウイルスの影響で開催できないため、お祝いとして福祉センターやまなみ荘で利用できる商品券を贈呈し、経済消費拡	1,486,194	1,293,000		148,752	R3.9.3	R4.3.31	敬老の意を込めた商品券の贈呈は、高齢者に大変喜んでいただき、かつ地域経済の消費拡大を促すことができた。
8	小中学校ICT学習環境整備事業	学校の臨時休業や分散登校等を視野に入れ、期間中も切れ目ない学習環境の提供や学習機会を確保するため、支援に必要なICT機器を整備する。	1,177,585	1,132,000		1,000	R4.1.24	R4.2.25	GIGAスクールでタブレットの導入が済み、今回ICT環境の整備により、遠隔授業等により、コロナウイルスの影響を最小限に止め、学習機会の確保ができた。
9	高齢者福祉センター換気設備設置事業	感染力の強いオミクロン株の感染拡大を受け、高齢者の方が多く集う福祉センターに除菌機能のある冷暖房換気設備の設置及びパーティション等を購入し、感染予防策をより強化する。	751,585	707,000		0	R4.1.24	R4.3.11	集団感染が危惧される状況下、空気清浄機能付きの換気設備の導入により、感染の予防につながった。
合計			61,256,495	54,513,000	0	6,382,522			